

第1回 生活保護受給者の健康管理の在り方に関する研究会	資料1
平成26年9月8日	

## 生活保護受給者の健康管理の在り方に関する研究会

### 1. 趣旨

生活保護受給者は様々な課題を抱えて保護受給にいたっているが、制度の目的である自立助長を図る基礎としては、何より健康状態を良好に保つことが重要であると考えられる。

国としては、これまでも生活保護受給者の健康の保持及び増進のため、①専門職の配置による適正受診指導、②健康診査及び保健指導の活用推進等の取組を進めてきた。

自治体においては、生活保護受給者の健康管理支援の取組について、より効果的に実施することが課題となっている。

そのため、健康問題に関する有識者や先進的取組を行っている地方自治体等担当者の参画を得て、生活保護受給者の健康保持増進上の課題及びそれらの課題を軽減・解消するための方策について検討し、各地方自治体の取組を促す方策への提言をとりまとめるものである。

### 2. 構成

- 外部有識者を招いた社会・援護局長の私的研究会とする（原則公開）。
- メンバーは別紙の通り。
- 事務局は、社会・援護局保護課とする。必要に応じ関係部局の参加もあり得る。

### 3. 検討事項（案）

- 生活保護受給者の健康状態に関する現状分析
- 健康の保持増進の意義・必要性
- 健康の保持増進における課題
- 課題解消・軽減のための効果的な方策の検討  
（例）
  - ・健康保持のための効果的な動機付け
  - ・食生活、運動、外出等に着目したアプローチの方法
  - ・専門職の確保のための方策
  - ・社会的資源の活用
- その他

### 4. 検討スケジュール

- 9月8日（月）に第1回を開催し、概ね月1～2回開催。
- 本年中を目途に提言をまとめる。

(別紙)

生活保護受給者の健康管理の在り方に関する在り方に関する研究会  
出席者名簿

(敬称略／あいうえお順)

神奈川県川崎市健康福祉局生活保護・自立支援室担当課長	相澤 照代
埼玉県上尾市生活支援課主任保健師	芥川 千津
杏林大学保健学部教授	浅沼 奈美
独立行政法人地域医療機能推進機構本部企画経営部地域包括推進課長	石原 美和
NPO 法人自立支援センターふるさとの会理事	滝脇 憲
あいち健康の森健康科学総合センター長	津下 一代
公益社団法人日本看護協会常任理事	中板 育美
公益財団法人健康・体力づくり事業財団常務理事	増田 和茂
新潟県立大学人間生活学部健康栄養学科教授	村山 伸子
元愛知県高浜市長	森 貞述